

きの妖怪

せました。このうち2日目に開催されたバスツアーでは川俣町周辺の白澤（白沢）として春日神社と東福沢薬師堂、水雲神社（福島市）の3つの神社を訪れ、実際に白澤彫刻を見て回りました。※白澤は妖怪に詳しい魔除けの神獣です。

峰守 現代において妖怪は多

われま

いが込められていてるように思

暮らせま

になり、平和で安心して（猯）

ず（龍神）五穀豊穡（瑞雲）

現れ（白澤）、洪水などが起き

神社拝殿には「立派な君主が

こられの建築彫刻から、春日

さわしいものとなっています。

コース（広場）」と呼ぶにふ

があり、まさに「祥瑞のコン

吉田

春日神社拝殿には白澤

をはじめとし、龍や猯、瑞雲

や菊など総計95個の建築彫刻

があり、まさに「祥瑞のコン

コース（広場）」と呼ぶにふ

く

のフィクションの題材とな

っています

ますが、フィクション

における妖怪はジャンルでは

なくモチーフであり、様々な

分野で活躍できる題材です。

現代では実際に妖怪を信じて

いる人は少ないですが、創作

物が資料や他の創作物を参照

しながら妖怪を語ることで

イメージが育っていく様は、

「妖怪はフィクションの中で生

きている」とも表現できます。

岩間

白澤の寺社彫刻の中に

は、近年になって「再発見」

されたものも数多く存在しま

妖怪は

フィクションの中で

生きている

春日神社はまさに

「祥瑞のコンコース」

と呼ぶにふさわしい



出発前に全員で集合写真を撮影しました。



白澤の背にある目に興味津々です。



バスツアー参加者は約50人でした。



講演会会場には貴重な白澤の資料が展示されました。



小説家
峰守ひろかず



生涯学習課歴史・文化係長
吉田秀亨

かみの妖怪

8月9日と10日の2日間、川俣町合併 70 周年記念事業として「妖怪シンポジウム～かみの妖怪きの妖怪～」が開催され、有識者による講演会や座談会のほかバスツアーなどが行われ、300 人を超える人で賑わいを見

す。皆さんの地域にある神社やお寺を注意して探していけば新たな白澤が見つかる（再発見できる）可能性は十分にあります。見つければそれは全国的にも数が少ない貴重な文化財であるばかりか、現在進行形で新たな発見や研究が進む白澤の謎を解き明かす重要な鍵になるかもしれません。

佐々木 「怪異」とは中国・日本の古代～近世において、不思議な現象や稀有な現象に対して用いられる言葉であり、国家や個人に対して何かが起こる前触れだとされてきました。古代の日本では、怪異への対応は国家により行われましたが、中世になると国家が管理できない様々な怪異が記録され通俗化・多様化し、個人のレベルまで浸透していきましました。そして、近世以降の日本では、怪異現象（「コト」を起こす存在（鬼神やバケモノ）「モノ」の）ことを強く認識するようになりました。やがてこれらを「妖怪」と呼び、キャラクターだと認識するようになったのです。

コト（怪異現象）から
モノ（妖怪存在）への
変遷に注目しよう

まだまだ見つかる！
白澤を探しに
出かけましょう

金沢学院大学准教授

佐々木 聡

毎日新聞福島支局記者

岩間 理紀

佐々木 聡

岩間 理紀

会場に展示された白澤の資料の一部（佐々木聡氏所蔵）



戸隠山〈白澤避怪図〉江戸 刷り物 紙本

日本近世で最も広く流布した〈白澤の図〉の形式。画賛は『瑞応図』、『涉世録』、『事林広記』からの引用3文で構成されるが、様々な怪異を起こす鬼の名を列記し、「鬼の名を七回呼べば、怪異を忽ち自滅する」などと述べる点は、元祖『白澤図』を彷彿とさせる。



『白澤図賛、邪馬台詩』 江戸 写本

前半は白澤の絵2種類とその図賛を収録し、後半は中世以来の予言詩である邪馬台詩の序・本文・注釈を収録する。白澤は典型的な人面牛身九眼のほか、六眼七角の獅子の姿でも描かれている。

（ページ中央）

吉田玉鳳〈白澤の図〉 明治 肉筆画

落款・識語に見える名前や地名から、大阪府和泉市の松尾寺に伝わった〈白澤の図〉の写しと推定される。